

太田川水系榎川支川19隣における 災害復旧に係る事業説明会

日時：平成31年2月13日（水）19:00～
場所：府中東地区センター

広島県西部建設事務所

1

～説明内容～

- (1) 平成30年7月豪雨の概要について
- (2) 太田川水系榎川支川19隣の事業概要について
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) その他

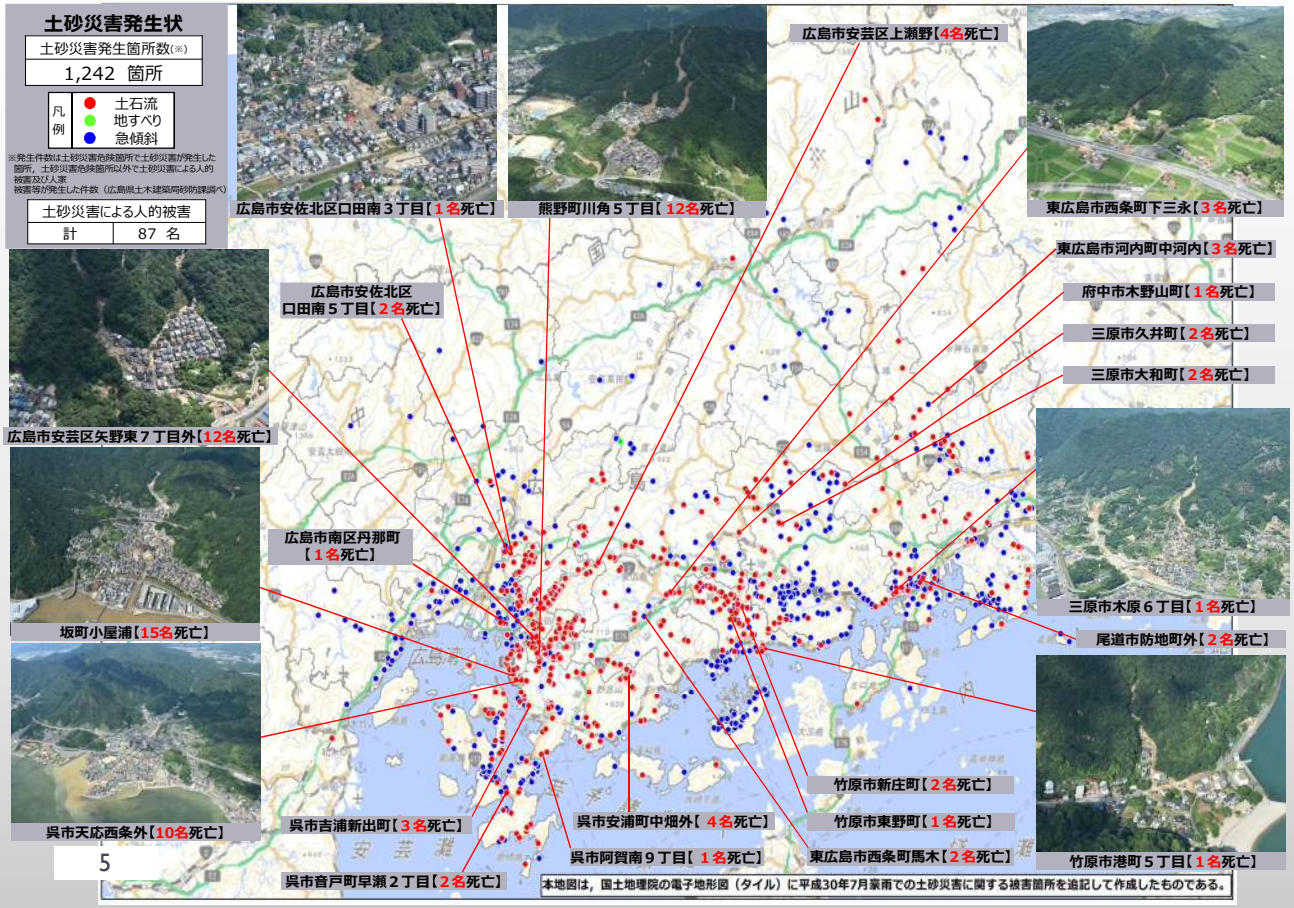
2

(1) 平成30年7月豪雨の概要について

気象の概況

- ・平成30年7月4日に日本海中部で台風第7号が温帯低気圧に変わり、温帯低気圧からのびる梅雨前線が西日本に停滞し、暖かく湿った空気が流れ込んだため、広島県では6日昼過ぎから7日朝にかけて大雨となり、安芸太田町を除く22市町に大雨特別警報が発表された。
- ・平成30年7月6日12:00～7月7日12:00の24時間雨量は、南西部、南東部、北東部で200mm以上を観測した。
- ・北東部の特に多いところでは250mm以上、南西部の特に多いところでは350mm以上を観測した。





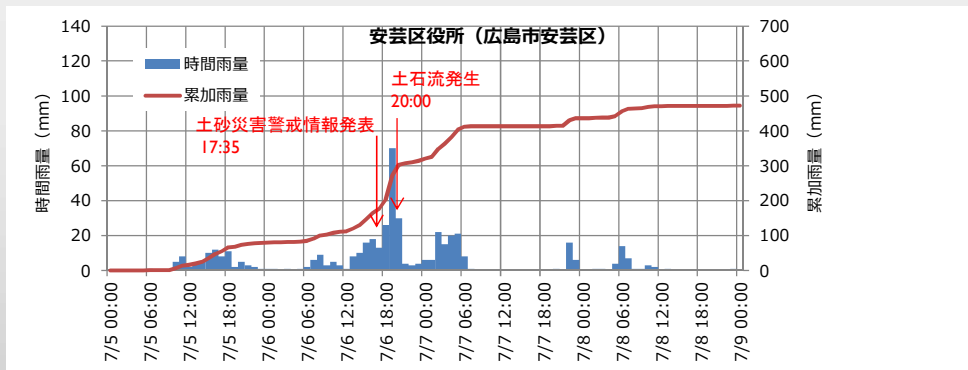
(2) 太田川水系榎川支川19隣の事業概要について

平成30年7月豪雨 太田川水系榎川支川19隣 (広島県安芸郡府中町)

雨量状況

観測所名	安芸区役所	発生降雨による総雨量	472mm(7月5日05:00~7月8日23:00)
読み	あきくやくしよ	最大時間雨量	70mm(7月6日18:00~7月6日19:00)
水系名	瀬野川	最大24時間雨量	327mm(7月6日06:00~7月7日06:00)
河川名	瀬野川		
所在地	広島市安芸区船越南 3丁目4番36号		
管理区分	広島県		
所管	農林水産局		

雨量グラフ 安芸区役所



7

○被災状況

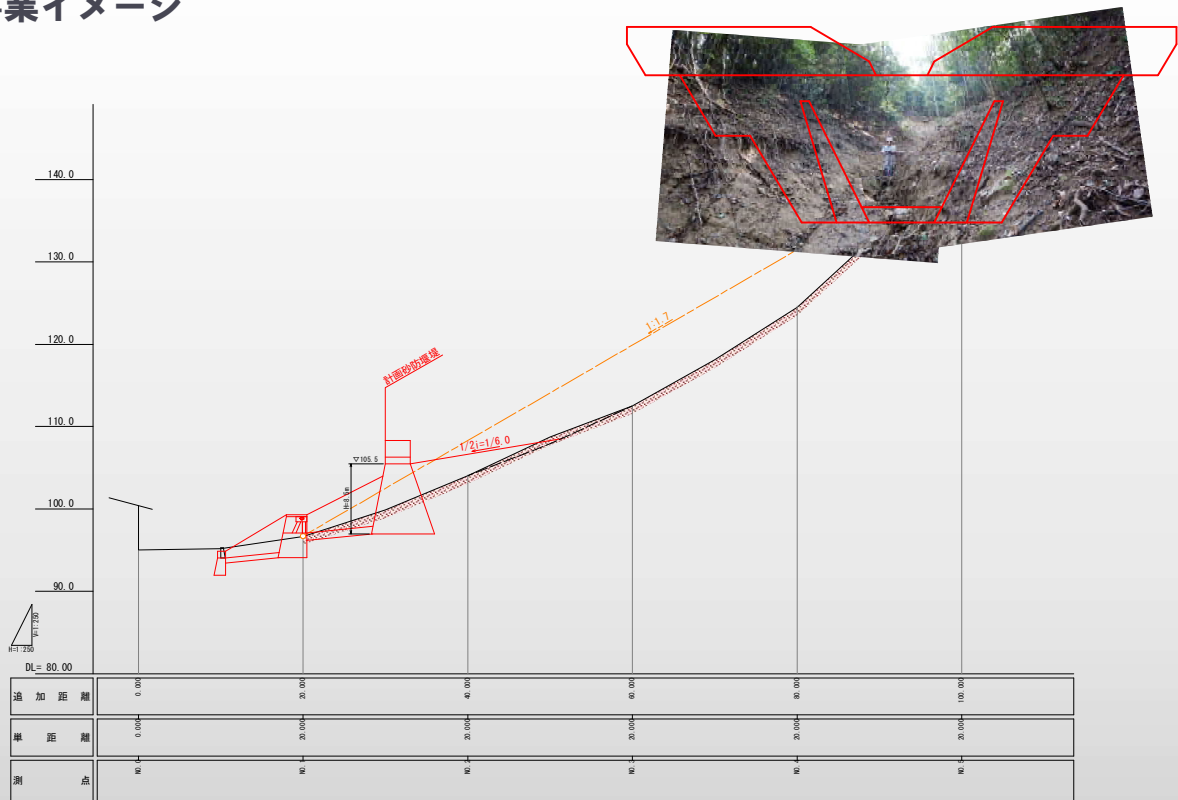
- 被害状況
- ・土石流発生日時: 7月6日 20:00
 - ・住家等被害: 全壊1戸

記号	項目	適用
■	被害人家	1戸
□	全壊	1戸
□	半壊	0戸
■	土石流氾濫 想定区域	
■	市町村道	なし
■	本川	



8

○事業イメージ



9

砂防堰堤とは…

○土石流など上流から流れ出る有害な土砂を受け止め、貯まった土砂を少しずつ流すことにより下流に流れる土砂の量を調節する施設。

⇒土砂が砂防堰堤にたまることで川の勾配が緩やかになり、川底や河岸が削られていくのを防ぐとともに、土石流の破壊力を弱める。

【砂防堰堤の事例】



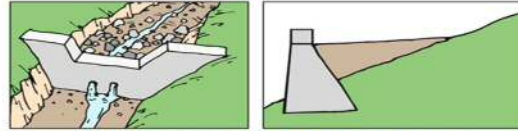
10

砂防堰堤の効果

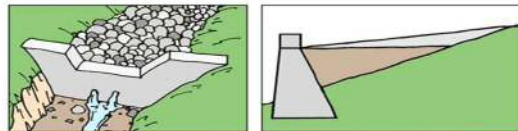
- ① 渓流内の不安定な土砂の発生と流出を減少させる。
- ② 流出してきた土砂を溜め、下流の河川の埋塞を防ぐ。
- ③ 土石流を直接受け止め、下流の人家や公共施設を土石流の直撃から守る。
- ④ 流出土砂を一時堆積させ、土砂を安全に流下させる。

砂防堰堤の効果

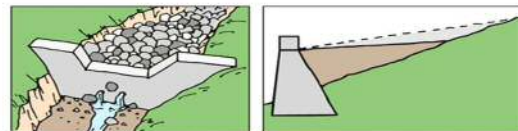
砂防堰堤は、流れてくる土砂を全て下流に流さないというものではありません。洪水や氾濫の原因となる土砂の流出を防ぐとともに、土石流をくい止める役割を果たしているのです。



土石流発生前／流れてくる土砂をためます。

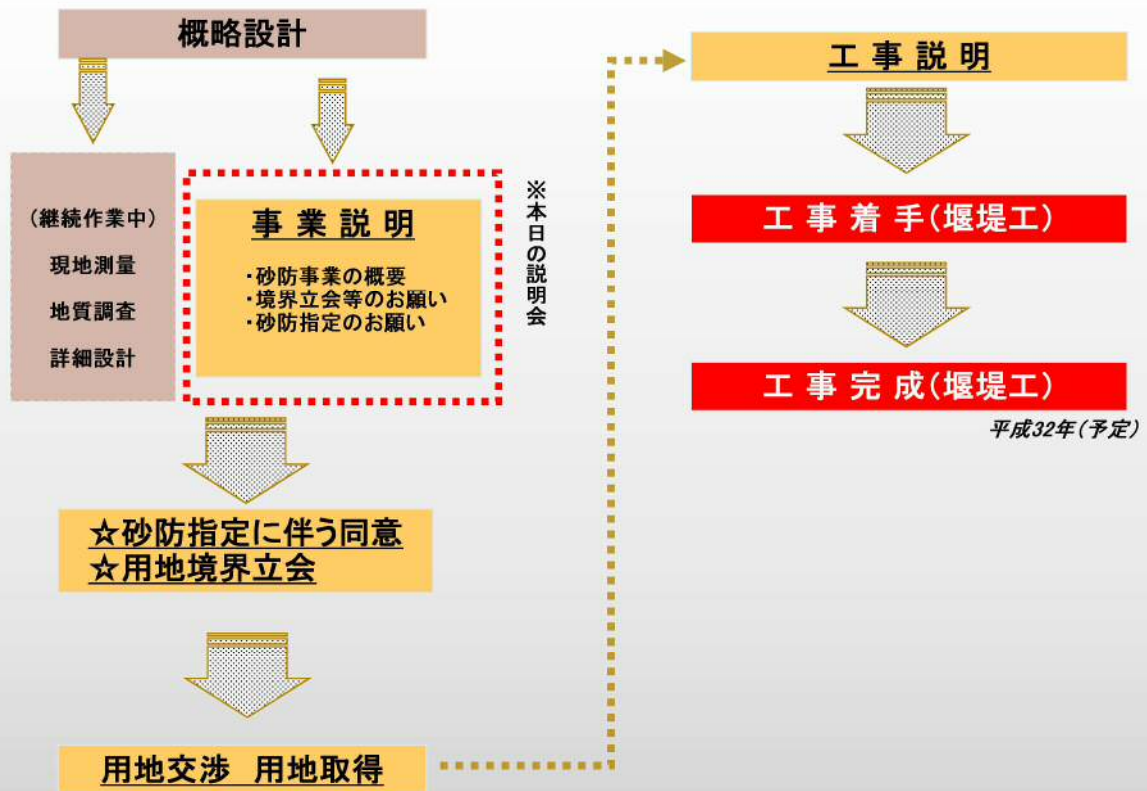


土石流発生時／ためた土砂の上にさらに土砂がたまります。



土石流発生後／中小洪水で土砂を少しずつ下流に流します。

(3) 今後のスケジュールについて



(4) その他

砂防指定地について

工事实施の前に、事業地を砂防指定地として指定する必要があります、

土地所有者の同意が必要となります。

また、指定されることにより砂防指定地内では、次の行為について、県知事の許可が必要となります。

- ・のり切、切土、掘削又は盛土
- ・立木竹の伐採
- ・木竹の滑下又は地引きによる搬出
- ・土石の類の採取若しくは鉱物の採掘又はこれらの堆積若しくは投棄
- ・牛、馬その他の畜類の放牧又は係留
- ・砂防設備以外の施設又は工作物の設置、改造又は除却

15

用地境界立会について

事業用地の取得には、土地の境界を確定させるため、土地所有者が境界を現地で確認する必要があります。

関係者の皆様に改めて連絡いたしますので、現地立会にご出席をお願いします。

その他(お願い)

工事が始まった際には、ダンプトラック・生コン車等の工事用車両が頻繁に通行します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

16

事業に関する問合せ先

広島県西部建設事務所 広島市南区比治山本町16-12

【工事に関すること】

災害関連緊急対策チーム TEL 082-250-8162

担当:富士田・光正

【用地・補償に関すること】

用地第一課 TEL 082-250-8152

担当:大石・岩岡